

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/04/24 Vol. 57 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 17 年第 1 回定例会報告 (5)

～ 合併問題の現在と今後を問う。印西市はどうする？

いつもお世話になっております。印西市議会第 1 回定例会 (3 月議会) は、3 月 25 日 (金) まで開催され、閉会しました。今回は、3 月議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心にご報告していきたいと思ひます。

2/23 (水曜日) に、代表質問に立ちました。

以下、市当局の回答です。

2 合併問題について

合併問題に関して、山崎市長は「状況の推移」を見守ると発言されているが、
今後はどのように考えるか。

- (1) 印西地区で合併を考えるとすれば、やはり本埜村、印旛村が対象ではないかと想像するが、
当該自治体では「合併」について、どのような認識を持っているか、確認しているのか。
また、千葉県は昨年夏の 2 市 2 村合併が白紙になったことについて、現在に至るまで
どのような態度をとってきているのか。

(回答/市長) 本埜村については、厳しい財政状況から合併を早期に推進したいとのことであり、議員
ご承知のように、昨年 10 月 7 日に千葉県知事に要望書を提出した経緯がございます。

印旛村については、財政面から見て将来的には合併せざるを得ないと認識してはいるが、2 市 2 村の
合併の失敗を踏まえ、まだ状況をみたいとのことでもあります。

なお、両村とも現在、行財政改革には特に力を入れて取り組んでいるとのことでもあります。

次に、千葉県の現在に至るまでの態度でございますが、2010 年を開業目標としている「成田新高速
鉄道」の整備や「成田・千葉ニュータウン業務核都市基本構想」の実現を図る上において、2 市 2 村の
合併が白紙になったことは残念であるとの態度を示し、新たな枠組みにより協議できないか訪問も受け
ているところであります。

- (2) 印西市は単独で今後運営できるか。シミュレーションはできているのか。

(回答/市長) 単独の場合でございますが、歳入面においては、千葉ニュータウン地域への入居や企業
進出に加え、郵政の公社化等により、税収はある程度見込めるものの、普通地方交付税は、段階・事業
費補正等の見直しによる削減と国の財源不足による地方債への振替により、地方債発行額の増による
将来債務への影響が懸念される状況であります。

一方、歳出面においても、人件費や公債費等の義務的経費をはじめとする経常的経費は、今後も高い
水準で推移していくものと考えており、また、道路・公園・下水道等の事業に加え、環境対策や少子
高齢化対策等による財源需要も見込まれている状況であります。

なお、将来の債務負担については、千葉ニュータウン地域における施設整備に伴う発行済み地方債や
債務負担行為の償還金は、減少傾向に転じ、現在合わせて約 32 億円あるものの、10 年後の平成 26 年
度には、20 億円を下回る水準になるものと考えております。

従って、これからの 10 年間で当市の財政面において、厳しい時期を迎えるものと認識しております。

(3) 状況の推移を見守るとはどのようなことか。いつまで、状況の推移を見守っていくつもりか。

(回答/市長) 状況の推移を見守るとは、昨年2市2村の合併が白紙になり、その後改めて住民側・議会側からも積極的な合併推進の声が上がっていない状況下においては、拙速に行動を起こすべきではないという判断であります。

また、いつまで状況の推移を見守っていくつもりなのかについてでございますが、やはり、合併を進めるにあたり、大切なことは、目先の損得のみで議論していくべきではなく、将来のまちづくりの観点を中心にしっかり議論を尽くし、市民や議会に対しても、理解を得ながら、最終的な結論が出されることが理想であると考えているところであり、今のところ、その環境づくりをどのように図っていくのが今後、大変重要になってくるものと認識をしているところであります。

(ぐんじとしのりからの執行部への再質問と回答)

「合併を進めるにあたり、大切なことは、目先の損得のみで議論していくべきではなく、将来のまちづくりの観点を中心にしっかり議論を尽くしていきたい」旨の発言がありました。

2市2村の合併は、白井市の離脱によって、白紙に戻りました。私は、昨年の合併破談について過去、議場でなんとかこの件について質問をさせていただいてきたわけですが、改めて、合併の失敗について、法定合併協議会委員でもあった山崎市長に認識をお聞きしていきたいと思います。

1) 破談した「法定合併協議会」では十分な議論がされたと思うか？

(協議会では)資料を山のようにもらい、どのくらい協議したのかといえば、山のような資料からは想像もできないような短時間で議決されている。会議中発言されない人も大勢いたとも聞いています。どのように考えていたか？市長の認識を問います。

(回答/市長) 議論尽くされたからこそ4首長が調印をされて、新市のまちづくり計画も表に出て、市民の皆様にお知らせをすることができたと考えている。

2) 破談した「法定合併協議会」では十分な市民への情報提供ができたと思うか？

印西市ではアンケートを実施しましたが、その回収率はきわめて低いものでありました。私は市民が充分な関心をもっていなかったからだと考えます。関心をもてない、つまりは情報がないから、わからないから回収率が低い。このような関係が成り立つと思います。街の将来に対しては誰しも興味を持つはずです。例えば、ここにはこのような建物ができます。興味を持つはずです。山崎市長は十分な市民への情報提供ができたと考えていましたか？市長の認識を問います。

(回答/市長) 疑問を残している。白井市ではその疑問が残ったということの結果で、ああいう住民投票の結果があらわれたのではないかと思っている。

(ぐんじとしのりから/市民の皆様へ)

本年3月9日に本埜村議会議長より印西市議会議長宛てに1市2村「印西市・印旛村・本埜村」が早期に合併できますようにご支援を賜りたい旨の要望書が届けられました。

この件をうけて、印西市議会では「印西市議会合併問題研究会」が設置され、今後の合併についての意見交換が行われて行く予定です。私は、市町村合併はそれまで自分たちが生活してきた市町村がなくなるということであり、住民の暮らしに大きな影響を与えますので、市民への積極的な情報提供を求め、また市民の声を十分に反映できるような仕組み作りを、次に協議会を行なう際には考えていくように求めて参ります。

散りゆく桜の花に包まれるように、海老原前市長が逝去されました。市民が望む施策を十分にやりとげたとはいえませんが、印西市を思う気持ちは誰にも負けていなかったと思います。ご冥福をお祈りすると共に、私はあるべき印西市の将来を皆様と共に手を携えて考えていきたいと思ひます。

次回も3月議会の報告を行ってまいります。よろしくお願ひ致します。

ぐんじとしのり